

# コロナ禍の思い出づくら

## 手賀東小 野外体験活動

手賀東小学校(佐和伸明校長、児童45名)は17日、5・6年生を対象とした野外体験活動に取り組んだ。コロナ禍で林間学校や修学旅行など、児童の思い出に直結する行事が相次いで中止となったことから、教職員と保護者、地域住民が連携して思い出作りの時間として設けた。当日は、午後から野外調理として焼きそばを作り、陽が落ちるとナイトウォークと称した肝試し、最後はキャンプファイヤーでダンスを踊った。極めつけは花火。地域もお金を出し、打ち上げ花火15発、花火師の心遣いでナイアガラの滝まであり、豪華なラインアップに子どもたちとその家族は瞳を輝かせた。

新型コロナウイルス感 他に、東京2020オリ った。「みんななくなっ 規模特認校の同校は全校 染拡大に伴って行事が ンピック競技の見学を予 てすごく残念だった」と 児童数45名。関係者が寄 次々と中止になった。さ 定していた企画もなくな 湯浅深音さん(6年)。小 り添ってきた学校だけ



学校上空に打ちあがる花火

に、子どもたちの無念を 教職員は肌身感じてい た。

コロナ禍にあって、三 密回避、ソーシャルディ スタンスが求められ、で きることは限られた。当 初は学校でお泊り会も考 えたが難しかった。

「子どもたちに笑顔 を」と持ち上がったのが 打ち上げ花火だった。学 校予算では1発打ち上げ

### 豊かな時間 学びの本質

キャンプファイヤー&花火打ち上げ

柏幻霜ホーク入り焼き そばを堪能し、キャンプ 子どもとこれだけふれあ ファイヤーでは、火の神 う時間は保護者にとって 扮する佐和校長から、希 も貴重だったのではない 望と、協力の火をも か。地域とつながったイ った児童らが、2つの ベントになった」と佐和 精神を大切にこれから過 校長。 ぐすと宣言。炎を囲み、 花火の時間になると卒 児童と保護者が手を取っ 業生らも集まり、大団円 とした。

るので精いっぱい。それ でも夜間に打ち上げれば 地域に迷惑をかけることし て、学区内の手賀、片山、 布瀬に相談に行ったとこ

ろ、3地区いずれもが 「地域も協力する」とし、 区費から2万円を捻出し てくれた。 学校に隣接する柏幻霜



「希望」と「協力」の炎で 校庭を照らす

地域絵出の児 童の思い出づ くりだった。

ホークでしら れる惣佐衛門 に花火の騒音 相談に行け ば、焼きそば 用に豚肉を提 供してもらっ た。数発の花 火打ち上げを 持ち込んだ高 城煙火店も予 算とは別に15 びのナイアカ ラの滝を用意 してくれた。

に。色とりどりの花火に 老若男女の歓声が沸き起 こった。湯浅さんは「す ごく楽しい。いい思い出 になった」と笑顔。教職 員と保護者による行事連 営と多くの支援にお礼 がうれしい。これからも 皆さんの温かさを感じな がら生活していきたい」